

報道機関各位

日本語教室スタートアップ事業 **国や言葉をこえての助け合い**

外国人住民の日本語の習得を支援する中で地域とのつながりを持つことができるように、箕輪町では様々な生活様式にあった日本語教室の開設を目指して、町の皆さんに多文化共生への理解やご協力をお願いするために多文化共生理解のための3回連続講座を開催します。

日 時 多文化共生3回連続講座（1回だけの参加もできます。） **参加費無料**

①「知っていますか？となりの外国人」～外国人住民と話してみよう～

令和5年1月29日（日） 午前10時から12時まで

場 所 地域交流センター研修室A・B

②「言葉ってなんだろう？異文化コミュニケーションを考える」

令和5年2月11日（土） 午後2時から3時まで

場所産業支援センターみのわ2階 研修室

③「ちがって何だろう？受け入れて楽しむワークショップ」

令和5年2月25日（土） 午後2時から3時まで

内 容

小学生から大人までが、楽しみながら参加いただける多文化共生理解講座です。

お互いを知り、想像し、体験し、楽しむことを目指していますので、小学生から大人までたくさんの方のご参加をお待ちしています。

添付資料 有 無**じゃらんnet**

「全国のおすすめ紅葉スポットランキング2022」でもみじ湖が3年連続**全国1位**に選ばれました！！

総務課総務係

(課長) 毛利岳夫 (担当) 入倉眞佐子

電 話 : 0265-79-3111 (内線) 1371

F A X : 0265-79-0230

E-mail : tabunka@town.minowa.lg.jp

3

回連続講座

＼1回だけの参加もOK／

参加費無料



箕輪町を多文化共生の町に

～国や言語をこえての助け合い～



1

「知っていますか？
となりの外国人」

～外国人住民と話してみよう～

日時：1月29日（日）

時間：10：00～12：00

場所：みのわ地域交流センター

研修室 A・B

2

「言葉ってなんだろう？」

～異文化コミュニケーションを考える～

日時：2月11日（土）

時間：14：00～15：00

場所：産業支援センターみのわ

2階 研修室

3

「ちがいてなんだろう？」

～受けいれて楽しむワークショップ～

日時：2月25日（土）

時間：14：00～15：00

場所：みのわ地域交流センター

研修室 A・B

＼参加申し込み方法／

総務課までお電話いただくか
こちらのQRコードから
お申し込みください。



＼主催（お問い合わせ）／

箕輪町役場 総務課
多文化共生推進員 入倉（いりくら）
0625-79-3111

箕輪町を多文化共生の町に～国や言語をこえての助け合い～

いま、箕輪町には人口の3%の外国人住民が暮らしています。その中には箕輪町在住歴30年という方もおられます。この町が好きで、この町を故郷のように思って暮らしている長期定住外国人住民が多いのが私たちの町の特徴でもあります。

しかし、外国人住民がコミュニケーションの道具である「日本語」を習得したくても、日本語教育支援を行っている場が非常に少ないというのも、この町の特徴でもあります。

日本語習得の支援をすることは、外国人住民と地域をつなぐことになり、自立を支援することだと信じて、箕輪町では『文化庁令和4年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業』を受託し「地域日本語教育スタートアッププログラム」を3年計画で取り組んでいます。

しかし、それぞれのライフステージに添った日本語習得の場を作り、継続していくためには、地域の皆様のご理解やご協力なしにはできないと考えています。そのための第一歩として「多文化共生3回連続講座」を開催することにしました。

箕輪町・多文化共生3回連続講座について

1. 「知っていますか？となりの外国人」～外国人住民と話してみよう～

地域で「生活者」として暮らす何カ国かの外国人住民の皆さんが参加してくれます。それぞれの出身国の紹介やグループに分かれて、やさしい日本語での自己紹介からスタートして、まずはお互いを「知る」為のワークショップを開催します。意外に知らないお互いのこと。知らないことが壁を作っているかもしれません。多文化共生に関心のある方ならどなたでもご参加下さい。

2. 「言葉ってなんだろう。～異文化コミュニケーションを考える～」

「言葉」を使わないコミュニケーションのワークショップ体験から「言葉」について考えてみましょう。参加対象は、子どもから大人まで、年齢制限はありません。

3. 「ちがってなんだろう？～受け入れて楽しむワークショップ～」

「ちがう」ことを受け入れる楽しさに気づくワークショップです。

参加対象は子どもさんから大人まで、年齢制限はありません。

★2回、3回のファシリテーターは、外国ルーツの子どもたちへの日本語教育をメインに多文化共生のまちづくりを目指す活動をしている渡邊麻衣さんが担当します。

●3回連続講座ですが、この中の1回のみのご参加、飛入り参加大歓迎！

●そして、来年度からは、いよいよ「日本語教室」を継続して開催していくための「多文化共生サポーター養成講座」も開催予定です。国籍や言葉や異文化の壁を越えて、箕輪町を多文化共生の町にしていくための取り組みに、できることからご参加いただけたら幸いです。

当事業についてのお問合せ：箕輪町役場総務課 tabunka@town.minowa.lg.jp

文化庁令和4年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業
地域日本語教育スタートアッププログラム

